

# 特集 めざせイクメン!



## 高まるイクメン期待度

「イクメン」とは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性、また、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のことです。

共働き世帯が増加している現代、子育てをするうえで、男性の持つ役割は非常に大きくなっていきます。父親が育児に積極的に参加することで、母親の負担感も和らぎ、子どもにも良い影響を与えます。

## イクメン職員研修

あったかなまちづくりに向けて

本市では、男性職員が保育現場を体験し、子育てに対する理解を深めるとともに、「子育てにやさしいあったかなまちづくり」を担う職員の育成に取り組んでいます。

今回、9月にみしま乳児保育園で行われたイクメン研修に参加した独自の職員5名の、学んだこと、感じたことを紹介します。

## 応援しますイクメン!

イクメン職員研修を受け入れて

みしま乳児保育園 坂上さつき園長

この研修の受け入れにあたり、市長さんのイクメン研修に対する熱い思いをお伺いし、子育ての基盤であるこの乳児期の関わりがいかに大切かを、こ



今回イクメン研修に参加した職員とみしま乳児保育園の職員のみなさん



日浦創佑 国土調査課

子どもたちとコミュニケーションをとるためには、発する言葉や表情、しぐさなどさまざまな情報から感情や伝えたいことなどを理解すること、子どもと同じ目線で物事を捉えること、何より真摯に子どもに向き合うことが大切であると感じました。

今後、行政という立場から子どもたち、保護者、保育に携わる方々が安心して笑顔で過ごすことができる環境づくりに寄与できるように、見識を深めていきたいと思えます。



阿部佳人 生涯学習課 豊岡公民館

今回の研修は自分自身に子どもができて、子育てをしていくうえで貴重な体験になりました。改めて子どもたちの可愛らしさ、無邪気さ、パワフルさを感じると共に、体力的なしんどさやコミュニケーションの難しさなど、子育ての大変なところも感じる事ができたと思っております。



野本啓太 給水整備課 浄水管理センター

日頃から子どもだけでなく、周りの人、全てに思いやりを持って接することが子育ての基本だと感じることができました。

研修では、子育ての多くの楽しさを知り、やりがいを感じました。同時に、難しいものでもあったと感じる子、ご飯が進まない子に対して、自分がどうしていいかわからず、慌てることも多くありました。そのような時でも先生方は上手に対応されており、やはり子育てには経験が必要だと強く感じました。

今後、子どもと関わる機会を持ち、将来の楽しい子育てにつなげたいと思えました。



近藤秀憲 総務課 秘書室

ミルクを手に持った感覚や温度、子どもがミルクを飲みやすい姿勢や、ご飯の食べさせ方など、全て



福田佑樹 生涯学習課 松柏公民館

が初めての体験でした。研修中、先生方の、親御さんたちの見ていないところでの一つひとつの配慮や努力によって、子ども、親御さん、そして先生間の信頼関係が築かれ、みしま乳児保育園のあたたかい雰囲気につながっているのだと強く感じました。

研修で体験したこと、感じたことを、今後大切にしていきたいと思えます。

今回の研修では、育児について学ぶとともに、先生方からも多くのことを学びました。実習中、乳児と遊んでいる時に、私が危険だと感じなかったことでも、「危ない」と先生が反応されることが多々あり、乳児の動きを見る目、危険の察知など、プロ意識を強く感じました。

日頃の自分が、お客さまに対し十分な気配りができているか、お客さまの気持ちになって対応できているか、自身の職務に対する意識を振り返る良い機会にもなりました。



先輩イクメン インタビュー 鈴木健生 子育て企画係

我が家には9歳と3歳の娘がいます。夫婦共働き家庭なので先に帰った方が夕食を作るといふ暗黙のルールがあり、妻が遅くなる場合は実家に預かってもらっている子どものお迎え、入浴、寝かしつけまで一人でおこなすことも珍しくはありません。

なるべく9時半までには寝かしつけるようにしているので、7時頃に帰宅して以降は家事が忙しく、子どもたちと十分遊んでやれないため、土日は庭や公園で体を使って遊ぶなどして、子どもたちと過ごす時間を大切にしています。

父親として子育てに参加することは当然のことと考えていますし、実際父親になった自覚は赤ん坊が生まれた瞬間に芽生えたのではなく、沐浴やオムツ交換など赤ん坊を世話することで、少しずつ実感していく感覚だったと記憶しています。

これからも、家庭での育児のほか、保育園活動など父親として積極的に関わっていくつもりです。また、子育て支援に関わる行政職員としては、子育て支援ネットワークの強化など地域のサポート体制の充実を図っていくほか、男性が楽しんで子育て参加できる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。